

令和元年度第1回市川市スポーツ推進審議会 会議録

- 1 開催日時 令和元年11月12日(火) 13時20分から15時00分
- 2 場 所 いちかわ情報プラザ 3階 会議室  
市川市南八幡4丁目2番5号
- 3 議 題 議題第1号 スポーツ推進基本計画事業計画の実績報告について  
議題第2号 令和元年度事業の進捗状況について
  - ・国府台公園再整備事業の進捗状況について
  - ・オリンピック・パラリンピック関連事業の進捗状況について
  - ・その他
- 4 出席者 水野 哲也委員  
松尾 正敏委員  
佐々木 森雄委員、  
小幡 晶子委員  
清水 輝和委員
- 5 配布資料 資料1 市川市スポーツ振興基本計画【概要版】  
資料2 スポーツ振興基本計画 事業計画の実績報告について  
資料3 国府台公園再整備事業(進捗状況) 野球場設計概要  
国府台公園再整備事業(進捗状況) 野球場平面計画  
資料4 オリンピック・パラリンピック関連事業進捗状況  
資料5 令和元年度事業の進捗状況について(個別)

○小島課長

それではただ今から、令和元年度第1回市川市スポーツ推進審議会を開催いたします。開会にあたりまして、文化スポーツ部次長の小川より、ご挨拶申し上げます。

○小川次長 <挨拶>

○小島課長

続きまして、スポーツ推進審議会水野会長よりご挨拶お願いいたします。

○水野委員 <挨拶>

○小島課長

ありがとうございました。本日の会議につきましては、5名の委員にご出席いただいておりますので、市川市スポーツ推進審議会条例第6条第2項に基づき、会議が成立いたしますことをご報告いたします。また、本会議時間につきましては、午後3時までを予定しております。なお、小川次長は別公務のため、申し訳ございませんが退席させていただきます。

それでは、議事を始めさせていただく前に、お手元の資料を確認させていただきます。

- ・本審議会の次第
- ・委員名簿

資料としましては

- ・市川市スポーツ振興基本計画【概要版】

右上に議題番号を、右下に頁数を付しておりますが1頁目から3頁目までが

- ・議題第1号 平成31年度スポーツ振興基本計画事業計画について

4頁目から11頁目までが

- ・議題第2号 令和元年度事業の進捗状況について

国府台公園再整備事業が4頁から5頁

オリンピック・パラリンピック関連事業が6頁

令和元年度のイベント関係が7頁から11頁

となりますが、資料の不足等はよろしいでしょうか。

それでは、スポーツ推進審議会条例第6条第1項により、会長が議長を務めることとなっておりますので、水野会長、議事の進行をお願いいたします。

○水野会長

それではただいまから、令和元年度スポーツ推進審議会を開催いたします。審議の前に本審議会の傍聴を希望される方の傍聴を認めることになっておりますので、本審議会は公

開といたします。審議を皆さんの協力により円滑に進行させていただきたいと思いますが、忌憚のないご意見をどうぞよろしくお願いいたします。

お手元の次第に沿いまして進めさせていただきます。

まずは、議題第1号「スポーツ基本計画事業計画の実績報告について」、スポーツ課からの説明をお願いいたします。

#### ○矢島主幹

スポーツ課矢島です。よろしくお願いいたします。議題第1号「スポーツ基本計画事業計画の実績報告について」説明させていただきます。お手元にお配りしました「市川市スポーツ振興基本計画【概要版】」と、右上に「議題第1号」と書かれた資料を基に進めさせていただきます。

本議題におきましては、基本計画に定める事業の昨年度の実績の概要について、主要なものをご報告させていただくとともに、今後の課題や対応方針など、事業の方向性や考え方についてご説明させていただきます。

委員の皆様からは、事業の取組方や方向性、考え方など様々な点に関して、ご意見やご提案等を伺い、今後の基本計画やスポーツ施策を進めるにあたって参考とさせていただきますと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、まず基本計画の概要として、計画の目標や施策の体系について説明いたします。

「市川市スポーツ振興基本計画【概要版】」の4頁をご覧ください。

基本計画では、「健康」と「ふれあい」をスポーツ振興のキーワードとして捉え、「健康で、ふれあい生まれるスポーツのまち、市川」を基本理念として、これらを推進するため6つの基本目標を掲げています。

それぞれの目標は、

- 1 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出
- 2 スポーツをする空間・場所の確保、充実
- 3 スポーツ団体・クラブの育成
- 4 スポーツを支える人材の育成・確保
- 5 スポーツの情報の収集・提供
- 6 スポーツ競技力の強化

とし、各目標には基本施策を定め、計画の方向性の具体化を図ることで、効果的に目標の達成に向けた取り組みを進めることとしております。

さらに、各施策には基本事業として、具体的な取組内容を定め、関連部署との横断的な協力体制のもと、スポーツ振興の効率的な推進を図っているところです。

また、これらの事業の実効性を高めるため、毎年度の具体的な取組内容を示す事業計画を策定し、基本事業毎に関連する実施事業を位置づけ、計画の進行に資するとともに、毎

年度の進行状況を確認・点検し、社会情勢やニーズの変化に伴う新しい課題に対応するなど、計画期間内であっても目標や施策等の方向性を修正しながら進めることとしております。

そこで、平成30年度の事業計画に対する実績等について報告させていただき、今後の方向性や考え方についてご意見・ご提案等をお伺いさせていただきます。

それでは、事業計画の実績報告についてご説明いたします。

議題第1号、A3資料1ページをご覧ください。

資料は、計画の目標や施策、事業、事業内容について、左側に記載しており、これら計画に定める基本事業毎に、平成30年度の取組内容や事業の課題、対応方針等について取りまとめております。

まず、基本目標1の「ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出」に関する実績でございますが、スポーツに親しむきっかけづくりとして、多様なイベントや大会を定期的・継続的に実施しており、参加状況等については、概ね例年通りでございました。昨年度は中でも、新しく開園した「J・COM 北市川スポーツパーク」の周知や、オリンピック・パラリンピックへの機運醸成を図ることを目的として、「いちかわスポーツフェスタ」を新しく開催し、約5,000人の方にご来場いただき、様々な世代の多様なニーズに応えるイベントとして成功を収めることができました。

次に、健康増進・高齢者へ向けたスポーツ教室等の実施も例年通りの開催となりましたが、少子高齢化や健康意識の高まりから、今後は教室数の拡大を図る必要があると考えており、利用希望の多い施設との調整、空き施設・時間帯の有効活用を検討することを課題として捉えております。また、障がい者スポーツの推進として、来年度のパラリンピック開催に向けた取り組みについて、関連部署と連携し、検討を進めてまいりたいと考えております。

続いて、基本目標2「スポーツをする空間・場所の確保」に関する実績でございますが、老朽化した施設の改修として、

- ・信篤市民体育館の屋根防水修繕
- ・塩浜市民体育館の空調設備改修工事

等に取り組んだほか、

スポーツセンターの全体的な施設整備の計画策定として、国府台公園再整備基本設計を実施いたしました。今後は、計画的に大規模な改修を実施していくこととなりますが、同敷地内の施設を供用しながらとなりますので、安全性や、周辺環境への影響に配慮し、進めていくこととしております。また、施設の管理運営については、概ね例年どおりの実績となりましたが、今後は、利用者と受付事務の負担を軽減するよう、施設利用アプリの新規導入など、ソフト面での検討を進めるほか、関連団体や部署との連携を密にし、既存施設等の有効活用を横断的に実施できる体制・環境づくりに努めてまいりたいと考えております。

続きまして、基本目標3「スポーツ団体・クラブの育成」に関する取組実績ですが、平成29年に設立した「北市川スポーツクラブ」の活動・運営の支援を実施するとともに、各クラブへの施設供用の支援等を実施いたしました。今後も、継続的に活動・運営の支援を実施するとともに、基本計画の指標に掲げる4つ目のクラブ設立やクラブ同士の連携等について、基本事業の方向性や必要性も含めて、検討を進めてまいりたいと考えております。

続いて基本目標4「スポーツを支える人材の育成・確保」の取組実績についてですが、「スポーツ指導者養成講習会」を実施し、認定者数15名と、概ね例年どおりの実績となりました。また、基本事業に掲げる「活躍の場の確保」と「スポーツボランティアの発掘・育成・確保」については、指導者と事業のマッチング、オリンピック・パラリンピックの開催に伴うボランティア活用の検討を実施いたしましたが、事業自体の方向性について検討を進めてまいりたいと考えております。

続きまして、基本目標5「スポーツの情報の収集・提供」に関する取組実績ですが、スポーツの情報の集約・充実においては、各イベント情報について、webページやSNSを活用した情報提供を実施するとともに、学校へのチラシ配布などを実施しました。今後も、効果的な情報提供を実施するとともに、提供する情報を整理し、わかりやすく充実した媒体としてまいります。また、スポーツや健康の相談窓口の充実については、基本施策や事業の方向性の検討を進め、関連部署との連携やアプリ運用の検討を進めてまいりたいと考えております。

最後に、基本目標6「スポーツ競技力の強化」についての取組実績ですが、スポーツ大会派遣参加費用に関する補助金交付や体育協会事業費に対する補助として、間接的に競技力向上の事業を実施いたしました。今後は、競技力向上を推進する事業として、指導者の資質向上と選手の育成や強化を図るため、市主催の講習会や教室等を実施し基本目標の達成に資することと考えております。

議題第1号の説明は以上でございます。

○水野会長

ありがとうございました。何かご意見やご質問はございますか。

○清水委員

野球場の改修期間における野球の大会は代替え地の借用等か、江戸川河川敷での対応を考えているのか。

○小島課長

野球場につきましては、国府台のみでなく塩浜や妙典地域においても一斉に整備に入る予定になっております。管理所管が異なることから、時期が重複してしまったものです。

ただし、河川敷において今年度整備し、有効活用を図ることと併せて、県の体育課に伺い、普段使用していない学校や、学校開放している県立高校のグラウンド利用について依頼・調整をしております。野球協会や高野連、少年野球連盟とは事前に話し合いの場をもって、調整を進めて参ります。

○水野委員

国府台球場は朝野球等も含め多くの利用がされているかと思うが、問題ないのか。  
河川敷等も今まで同様には使えなくなるのではないか。

○小島課長

河川敷も台風の影響等で使用できない期間等もありますが、団体同士で調整を図っていただくこととしており、市民大会等も野球協会と調整を進めております。

○水野委員

東京医科歯科大学においても、国府台高校の校舎等の建替え等に伴い、体育館やグラウンドの貸出を行っており、「国府台コンソーシアム」の関連により、千葉商科大学も体育館を部活動に貸している。公共同士のみでなく、民間や、近隣大学等との連携、協力も市が間に入り行っていくのが良いのではないか。国府台地域においては「国府台コンソーシアム」により、小学校から大学、病院等まとまっているが、他地域では繋ぎ役は必要だと思う。

○松尾委員

市川市民マラソン大会について、和洋女子大学や千葉商科大学のセンター試験日と重複していたが調整は済んでいるのか。

○小島課長

コースの一部変更等により、調整いたしました。

○矢島主幹

生徒や受験生の皆様に極力ご迷惑をおかけしない形で進めさせていただければと考えております。

○松尾委員

東京医科歯科大学は影響受ないのか。

○水野委員

東京医科歯科大学はコース外、都内の校舎を使用して試験を行うため問題はない。近隣の調整は引き続き行い、トラブル等無いようにすすめてほしい。

○小島課長

京成バスとも調整を行っております。

○清水委員

マイクや放送の試験への影響は考えられるのか。開会式のみではなく、ゴール案内やアナウンス、閉会式でも使用しているかと思うが問題ないか。

○小島課長

その点につきましては、音量や、スピーカーの向き、単体のスピーカーの利用などで調整し、音がいかないように進めていきます。

○水野委員

大学入試においては、受験生や文科省も神経を使っており、何か問題が起きてしまうと今後の協力体制等にも影響が出かねないため、調整できる箇所はしっかりと調整し、お互い誠意を持った対応を行い、ふれあいを作るつもりでふれあいを切ってしまうよう調整を進めてもらいたい。

○小島課長

最大限の配慮、調整をさせていただきます。

○水野委員

後はよろしいでしょうか。それではいくつ伺います。

1つはマッチングについて、昨日公開指導を行った際に来た受講生の人たちが、コートを借りて行く際に子ども達のみで行っており、指導者を呼べないかという話があった。そのような窓口が必要だと思うが、人材を登録し必要な方はバンクを検索し、予定のあう指導者とマッチングできるシステムがあればいいと思う。既存のシステムがあれば、活用方法等の検討が必要だと思う。費用の問題等もあるが、マッチングした者同士で費用などは調整するようになれば、市の負担も少ないので良いのではないか。

○小島課長

そういった指導者派遣制度を、どのように整備するか検討を進めているところです。

実は以前もスポーツリーダーバンクといったものを作成しており、指導者を探している方には連絡をいただき、紹介した方と、利用者において費用等は調整していただくものを

行っていましたが、当時は需要がなく県も市も廃止しております。現在はまた変わってきていることもありますので、違ったやり方等を検討していきたいと考えております。

○水野委員

現在は学校離れが起こっており、学校では行わないが、自分たちで行うのでその場に指導者が欲しいということもあるようなので、サポートできるシステムがあればよいと思う。総合型地域スポーツクラブでうまく行えればそれもいいのではと思う。

○小幡委員

総合型地域スポーツクラブでも、ボランティアや指導者登録を宣伝やホームページへバナーを付した際は何人か掛かってきたため、一度講座を開いていただき、実力等マッチングした際は照会した実績もある。しかし施設がなかなか取れないことなどから、それっきりで終わってしまっており、貴重な人材なので場があればいいなという状況が増えている。また、それらをクラブ内だけで納めてしまうのはもったいないとも思います。

○水野委員

今の子どもたちはそういった情報を探すのがうまいので、指導者とうまくマッチングできるものがあればいいと思う。

○小幡委員

ただ、自分たちの思う指導と合うかどうかはわからず、検索し見つけたとしても履歴書等の文面だけでは踏み出せないといったものが本音としてあるようです。なので、トライアルの場があれば、小さな団体においても進むと思います。

○水野委員

スポーツの種類も色々とニーズが出てきており、今まではスポーツは学校か道場かとなっていたが、今は離れて自分たちでスペースを借りて行うことが増えてきているから、そこうまくやりたい指導者が出向き、それがその後に繋がればいいのではないか。

次に、競技力向上というのはどこの競技力を向上しようといった具体的なプランはあるんでしょうか。

○小島課長

種目を限定しているわけではなく、全体的な水準を上げていこうと考えています。但し、それを一気に行うことはできませんので、スポーツ課で来年度予算として競技力向上のための予算を確保し、種目を限定して行わせていただいて、翌年は別の種目を行うイメージではあります。例えば体育協会で行っている市民スポーツ教室。月に数回行っているもの



にトップアスリートの指導者を月に1回派遣し、継続的に指導を受けられる体制を整えることや、指導者向けに著名な有識者に指導法を教えていただき、競技水準を上げていくことなどを案として、これらをより効果的なものとなるように詰めていこうと考えております。

○水野委員

国や県はメダルや国体の成績といった競技力の水準を図るものがあるが、市としての水準はあるのかを伺いたい。あるのであれば、多くのものをやるのもいいが、可能性の高いものを集中的に行い、限りある資源をどこに使うのかをきちんと目標に向けて選択するのも必要ではないか。

○小島課長

市の体育協会としては県民体育大会での成績を残すこと1つの目標として行っている。

○清水委員

体育協会としても、昨年より優秀な成績を取めた場合、その競技協会・連盟へ報奨金を授与する取り組みを昨年から行っている。

○松尾委員

例えば、ハンドボール等でその都市や地域における重点種目を限定していくほうがよいのではないのでしょうか。どうでしょうか。

○水野委員

それは一つの考え方であって、その地域に根付くので、市川の子はみんなハンドボールができるなどはあってもいいと思う。

○松尾委員

そのような重点種目に、強化費の授与していくのもいいのではないのでしょうか。

○清水委員

体育協会として優勝した場合に報償費の授与等を行っているが、約38競技ある中のハンドボール等1つの優勝ではなく、全体の振興、競技力向上が必要であると考えている。

○松尾委員

一種目団体の結果や頑張りが、他種目団体の後押しや鼓舞に繋がることもあると思います。全体に広げてしまうと、効果が薄れてしまうのではないのでしょうか。

○水野委員

佐々木委員も何かご意見ありますでしょうか。

○佐々木委員

スポーツについてはあまりご意見できませんが、健康増進という言葉が資料で目にしますが、3頁目のスポーツ情報の収集と提供の(2)の2において、運動療法や運動処方の開発として、「アプリの検討や医師会と連携を取る」といった記載があるが、現状どのような進捗状況でしょうか。

○小島課長

まだ、医師会等へのご相談できる段階まではたどりついていない状況です。まず内部の段階で調整し、アプリの関連で情報部門等と検討を進めている段階です。

○佐々木委員

ご相談があれば、疾病予防課等を通じてでも、お声掛けいただければと思います。指導者の話も出てきておりますことから、健康増進の指導者がどうなっているのかも気になるところで、新聞等でも報道されてますが、フレイル検診というものが来年から厚労省から取り組みが行われるという話が出てきましたので、高齢者に関しては運動と同時にたんぱく質を取り、筋力を衰え防止する等の意識も高まってきておりますので、必要な際は、ご連絡いただければ検討させていただきます。

○水野委員

中国分に以前和洋学園に勤めており、現在は日大に勤めているナンバ先生が運動処方の専門家であり、健康アプリの制作などにも携わっているようなので、そういった方々や湊委員等とも協力して高齢化社会への対応を検討していったほうが良いと思う。

○小幡委員

総合型地域スポーツクラブは何でも屋であり、特に ISG 国府台においては競技力向上ではなく、まさに疾病予防課とスポーツ課の間におり、リハビリや通院する必要はないものの、自宅以外に運動の場や居場所がない方の居場所づくりとしているが、携わっているのがスポーツの関係者のみで発展性が少ない。市の説明にあった課を横断した連携として使っていただきたいと思いながら、市民で組織されている団体のため力がない。こういった団体をうまく使って、医者や保健師の指導までは必要としない人たちの活動の場としてもらいたい。健康教室などにおいても有識者とそうでない方では根拠が乏しいことから、お金でなく人材の紹介等の担当課を横断した支援をしていただきたい。

○水野委員

介護等についても、グループに参加しているのといないのでは大きく影響があり、特に年配者はそこに属して役割があることが重要で、介護費にも差があり、科学的にも証明されている。

○小幡委員

一度やめる方が、足が治ったら来ますと言って戻ってきた例はほとんどない。電話や声掛けといった呼びかけが必要であり、連携やソーシャルネットワークの役割を担っているはずの総合型地域スポーツクラブが連携に関して手が出せていないのが現状です。

○水野委員

スポーツセンターの中に、歩いたり座ったり、憩いの場を作っていたほうがいい。市ではなく、企業や関係者を巻き込んでビジョンをみんなで考えなければならない。食事やお茶ができる、週に一回マルシェを行い、地元の野菜を販売するなど、みんなが集える空間を作りが必要であり、そこにある総合型地域スポーツクラブも本来の役割として、地域スポーツに限らず保健や医療とのほざまにおける活動で、その場にいれば自然と体を動かしたり、仲間や生き甲斐が見つけれられるといった社会づくりをしていかなければならない。そこは皆さんで協力して知恵を出し合っていければと思います。

○水野会長

その他何かございますか。

それでは次の議題に移りますので、説明をお願いいたします。

○矢島主幹

それでは、議題第2号令和元年度事業の進捗状況について、右上に議題第2号と書かれた資料4頁になります。

こちらの議題では、主な事業の状況報告として、

- ・国府台公園再整備事業
- ・オリンピック・パラリンピック関連事業

の進捗について、ご報告し、最後に、今年度の前半までに終了しました、主な事業・イベントのご報告をさせていただきます。それでは、4頁をお願いいたします。

こちらは、国府台公園再整備事業における野球場の設計概要をお示ししたものでございます。再整備事業においては、まず老朽化が著しく、利用環境や安全性に課題を抱える野球場から再整備を進めることとし、現在詳細な設計業務を進めているところです。整備コンセプトとして、自然や歴史の地域特性を踏まえ、レンガ調などのレトロな雰囲気を持つ外観として、市民に親しまれる球場を目指していくこととしております。

また、付帯設備としては、市民活動の機会を創出するため、就業・就学後も利用できるよう、夜間照明を設置するほか、人工芝のグラウンドとすることで、今まで雨天後や冬季の整備時に休場していた状況を改善することとしました。

そのほか、防球ネットの高さや配置を見直し、高校野球や今後開催を予定している千葉ロッテのイースタンリーグなどの試合における打球の飛び出しを防止できるよう計画しております。また、野球場の開設に合わせて、駐車場や周回園路の状況の整備を実施することとし、事業スケジュールといたしましては、今年度に詳細な設計を行うとともに、来年度9月までに既存施設の解体工事に取り組むこととしております。その後、来年度10月から新設工事をし、野球場スタンドや付帯設備、周辺環境の工事を、約1年半の期間で実施し、令和4年度の供用開始を目指して進めてまいります。

続きまして5ページをお願いいたします。

こちらの資料では、野球場の平面計画として、新たな球場のスタンド内部に配置される部屋や、スタンド階の観覧席についてご説明いたします。まず、スタンド内の諸室ですが、国府台野球場は市民球場として、利用環境や利便性の向上を図るだけでなく、今後開催を予定しているイースタンリーグの試合に必要な機能性を備えたものとして、協定を締結している千葉ロッテマリーンズのご意見等を伺いながら、計画を検討してまいりました。

供用スペースには、スタンド内に特別観覧席として、ドリームシートを設けるほか、エントランスホールには、展示コーナーを設置し、多くの方が楽しめるよう計画しております。野球利用者、選手用の諸室としては、これまで、球場内に更衣室やトイレ等がなく、機能的に不足していた設備や備品関係についても、十分な環境を整備するとともに、関係者や大会運営者にとっても、放送席・記録者室など必要な機能を備えた球場となる計画でございます。管理用の諸室としては、管理事務所や倉庫、会議などで多目的に利用できる部屋を配置することとし、また、車いすの方でも観戦を楽しめるようエレベータや多目的トイレを設置し、バリアフリー対応の施設となっております。続いて、観覧スタンドでは、イースタンリーグの公式戦の観戦が楽しめるよう、ペアシートやボックスシートなどバラエティに富んだ座席 全3,166席と、外野スタンドの芝生席の配置を計画しております。また、メインスタンドには、日よけ・雨よけとなるようスタンド屋根を広く設置し、機能向上を図ることとしております。観覧座席については、これまでの長いすベンチから、全席を個別席として計画しており、メインスタンドでは、背もたれ付きの座席、1・3塁側の外野スタンドでは背もたれなしの座席を配置することとしております。メインスタンド上段には、ペアシートとして、親子やご夫婦で観戦できるシート、1・3塁側には、ボックスシートとテラス席として、ご家族やグループで観戦を楽しめるシートを計画しております。

このように、野球場の改修にあたっては、施設利用者や関係者に加えて、観戦に来られた方も楽しめる施設として、再整備を実施することとしております。

続きまして、オリンピック・パラリンピック関連事業の進捗状況についてご説明いたし

ます。

6ページをお願いいたします。

昨年度まで、オリンピック・パラリンピックに関連する事業は、企画課を中心に行っておりましたが、本年度よりスポーツ課に所管がうつりまして、スポーツ課を中心に取り組んでおります。

まず、東京 2020 オリンピック・パラリンピックプロジェクトの概要についてご説明いたします。お手元の資料左側をご覧ください。

本市では、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、大会に関連した取り組みを効果的に進めるために、平成 27 年度に、東京 2020 オリンピック・パラリンピックプロジェクト推進本部を立ち上げております。本プロジェクトでは

「ともにスポーツ・文化を楽しみ、世界を感じる街づくり」、

「市川市に住む人、訪れる人が快適に過ごせるまちづくり」の2つの目標のもと、5つの方針を定めております。また、平成 29 年度からは、各課の既存事業のうち、目標と方針にそった事業を集約し事業計画を策定し、オリパラ関連事業として、これまで各課にご協力をいただき、取り組みを進めてまいりました。資料には、各課で実施して参りました、実績を記載しております。なお、下線部が引いてあるものは、スポーツ課にて実施しております事業でございます。

次に、資料の右側をご覧ください。

東京 2020 大会の開催に伴い、市川市へ競技団体等の事前キャンプを誘致し、市民との交流の場を設けることにより、大会開催へ向けた市民の機運醸成を図るため、平成 29 年 10 月に「市川市スポーツキャンプ誘致等実行員会」を設立いたしました。こちらには、水野委員、清水委員にもメンバーとしてご参加いただいております。

これまでに、各国のフェンシングチーム、ブルガリア新体操チーム、イタリアソフトボールチームの事前キャンプ、日本ゴールボールチームの強化合宿を実施して参りました。

来年度に向け、ブルガリア新体操につきまして、現在も継続して誘致に向けて、調整しております。ソフトボールにつきましては、残念ながら、仙台での事前キャンプが決定しております。他の種目につきましては、ブルガリアのホストタウンに登録しており、千葉県開催種目でもある、ブルガリアのテコンドー、事前キャンプの実施には至っておりませんが、昨年度より、カナダのゴールボールチームと連絡をとり、誘致活動を継続して行っております。

今後は、大会開催年となる来年度にむけ、従前の取組に加え、他課との連携を図り、東京 2020 オリンピック・パラリンピックプロジェクトの目標 1 を推進する「イベント部会」、目標 2 を推進する「おもてなし部会」を推進本部の下にたちあげ、既存事業に加え、新規事業等にも取り組んでまいります。主な取り組み事業としましては、右ページ下段に記載のとおり、

○おもてなしに関連した事業

- 国際交流に関連する事業
  - 聖火リレー等に関連する事業
  - 競技放映等に関連する事業
  - 試合観戦等に関連する事業
  - 子ども向け体験型イベント、民間企業・大学等と連携した事業 でございます。
- 具体的な取り組み内容につきましては、今後、部会内において検討し、推進してまいります。
- 最後に、今年度実施したイベントについてです、資料といたしましては、7ページから11ページでございます。

主な事業として、7ページ「下総・江戸川ツーデーマーチ」と9ページ「いちかわスポーツフェスタ」についてご説明いたします。

まず、7頁の「下総・江戸川ツーデーマーチ」でございますが、今年度は、ウォーキングイベント、模擬店や地域住民の発表会に、3,637人の参加があり、大いに賑わっております。今後も継続して実施していくものですが、「健康都市いちかわ」を推進する取組として、関連部署との連携を図り、健康分野によるイベントとしての位置づけも強めてまいります。

次に、9ページをお願いいたします。

「いちかわスポーツフェスタ」についてでございます。

今年度で第2回目を迎えるイベントでございますが、残念ながら天候に恵まれず、雨天により中断しながらの開催となりましたが、約3,000人が来場し、様々な種目の教室や体験会、トップアスリートのトークショーを楽しんでいただきました。

本イベントは、開催目的の一つとして、スポーツを通じた地域の活性化を掲げ、近隣の自治会や飲食店による模擬店、住民発表などによりイベントを盛り上げておりますが、将来的には、市の主導ではなく、近隣地域が自主的に開催するイベントとして取り組んでいただけるよう、今後は運営体制の主体を検討していくことと考えております。

議題第2号の説明は以上でございます。

○水野会長

ありがとうございました。委員の方からご質問やご意見があればお願いいたします。

○松尾委員

駐車場スペース、台数はどうなるのでしょうか。

○矢島主幹

4頁の右下に野球場の絵と共に駐車場イメージがありますが、現状より減る想定です。

○小幡委員

今でも足りない状況がありますが、イースタンリーグの試合も今後行われるのであれば足りなくないでしょうか。二段式等はできないのでしょうか。大会などがあると、普通の教室参加者の駐車場がないこともあります。

○小島課長

駐車台数については現在より減りますが、調整させていただくとともに今現在同様に里見公園分園の借用や、イースタンリーグ開催時はシャトルバスの運用等も検討しております。二段式等の案もありますが、現状は厳しいかと思われます。スペースに限りがありますので、できる範囲での整備を考えております。

○水野委員

原則は公共交通機関を利用してきてもらうこととするように考えたほうがいいのではないかと。本来この規模の球場を整備するのであれば、3, 4倍少なくとも1,000台程度の駐車場が必要であり、イベント等を行うのであればさらに必要になる。そのためこの場所にその駐車場を整備することは現時点では無理である。

○小幡委員

他市にもありますが、関係者以外の駐車場はなく公共交通機関やタクシーで来てもらうとするのでしょうか。

○小島課長

この球場については、交通の便は良いといわれております。しかし敷地内のみで十分とは考えておりませんので、その際は臨時駐車場を確保し活用することを検討しております。

○水野委員

競技力向上だけでなく、健康づくりも目的であれば、緑やウォーキングスペース等の集える場所を整備することが必要なため、多くの駐車スペースを確保することがいいことかは考え方だと思う。

○小幡委員

ただし、障がい者用のスペースが確保できていないと安心してこれない方も多く、現在教室開催時はコーン等を設置し事前に確保しているが、止められてしまい乗降者できないこともある。役員や関係者、緊急車両用の別入口等も設計してもらいたい。

○小島課長

将来は管理用通路等も整備するように基本計画、約10年の計画を策定しておりまして、初めの整備として野球場を行うこととしております。また、以前に千葉商科大学と土地交換を行った旧アーチェリー場を活用し、公園北側道路を直線化し空いたスペースに多目的広場兼臨時駐車場を整備することとしております。平日の車両が少ない際は多目的広場として活用し、大会時等は駐車場としての活用を考えております。

○水野委員

空間や緑は残しておく事も大切で、国府台地域に精神病院等が多いのは環境がいいからであり、癒しの場としての役割を担っている。現在は色々な建物も建ってきているが、じゅん菜池の方も含めて全体的に緑を保全し、スポーツや休憩所、散歩等ができる中間的なエリアスペースの中核として東京にも近く、様々な情報発信も行いやすいと思うので、モデル地区として国府台公園の整備を進めたほうがいい。今後高齢者が増えることも人口の減少も想定されていることなので、いかに時代のニーズに対応していくかが重要だと思う。

○清水委員

船橋アリーナでは、ラグビー場兼臨時駐車場として当初あったが、千葉ジェッツの試合等があり5,000人程度収容しているため、ラグビー場としては機能している場面を見ることは無い。

○小幡委員

市川市スポーツセンターは都市型で、時刻表を気にしなくともバス等公共交通機関で来場できるため、役員、障がい者、緊急車両用のみ整備し、利用者は公共交通機関を使うよう、バスの増便などでの対応をしたほうが、もめることも無いのではないかと。

○清水委員

先日スポーツセンターで大会開催した際は、千葉商科大学で開催している試験参加者なども来てしまったので近隣のコインパーキングへ案内したが、誘導員が不在の場合やゲート式の場合必要な駐車場を確保できなくなってしまう可能性もあるのではないかと。

○水野委員

イベント時は役員に駐車券を発行するなどの対応をするしかないのではないかと。駐車場の件は色々な意見があり、この場で決めることはできないが、イースタンリーグの試合も開催されるのであれば、バスロータリーの整備などを検討してもいいかもしれませんね。

できればホームタウンのようになり、親子でバーベキューをしながら観戦したり等でき



るようになるといいですね。

○小幡委員

野球場回りに利用者もそうでない方もみんなが利用できる飲食店等はあるのでしょうか。

○松尾委員

大会時だけでなく、普段も利用できるのでしょうか。

○小島課長

千葉ロッテ側としても、売店設置の希望はありますが、開店時間等は今後調整予定です。中には、試合時のみのお店もあるかとは思いますが。但し、現在の陸上管理棟に並ぶようにカフェ等施設は整備する計画としております。

○水野委員

新たに作るのもいいかと思うが、野球場の観覧席下のスペースに作ればいいのか。野球場と陸上管理棟の間がメインスペースとなるのであれば、その近辺や周囲をどのように使うか、ウォーキングコースや緑の配置の絵を描き、ビジョン・イメージを全員で共有し意見を出し合えたほうが、より良い憩いの場を創造できると思う。

○小幡委員

クラブ会員からの意見は、交通費を使わずに市内でカフェやスポーツ、仲間と共有の場があるところに行きたいとの意見があり、整備計画を伺った限りではスポーツセンターが正にその場になるように感じます。スポーツセンターの開館時間の設定は広がるのでしょうか。どのように考えてますでしょうか。

○小島課長

これからの協議、検討になります。

○清水委員

売店業者の選定はどこが行うのか。道の駅いちかわのイタリアンレストランは値段設定が多少高額に感じる。地域にあったものを選んでほしい。

○小島課長

売店の設置も含めて、国府台公園や各施設の管理形態については今後検討を進めてまいります。

○松尾委員

安すぎてもよくないと思います。千葉商科大学にも「The University DINING」を設置しており、学生の昼食には多少割高な金額にも思えますが、内容がいいので和洋女子大学や東京医科歯科大学の学生にもお越しいただいています。

○小幡委員

食事ができるスペースは必要だと思います。千葉商科大学のカフェも、夜間 ISG 国府台でお借りすることもあります。学生が使用しない時間帯は一般の方向けのレストランとして等の活用をしてもらいたいです。今後スポーツセンターの利用時間が伸びた際などは、土日祝日等においても利用が増えるのではないのでしょうか。

スポーツセンター内だけでなく、近隣や、地域として盛り上げていけたほうが良いのではないのでしょうか。

○水野委員

国府台コンソーシアム等においても、国府台公園再整備について情報共有を図ればより多くの意見をもらえると思う。前回も 1,000 人程度来ていたので、情報発信の場として活用してもらえればと思うので、公開しても問題がない資料等を提供いただきたい。

また、国府台地域については、施設や飲食店が点々としているため、各施設の案内をつけて共有できるようにするのがいいと思う。

また省エネ等の地域コンセプトを定めて、統一した運営や整備とするのが良いのではないかな。

○松尾委員

スタンドに屋根は付けるのでしょうか。打球に対する耐久性などの諸問題はあるかと思うが、ソーラーパネルをつけて照明電力を補う等してもいいのではないかな。

○小島課長

国府台コンソーシアムや資料につきましては、今後調整、ご提供させていただきます。またソーラーパネルについては、北市川運動公園を整備する際にクラブハウスへの導入を検討したところ、補助金を活用しても費用が上がってしまうため見送ることとした経緯があります。但し、技術の進歩による費用減少や、防災・省エネ効果を評価しての整備等は今後検討していきます。

○水野委員

国府台公園は防災面における価値もあり、この前の台風の時もたくさんの避難者が来たかと思うが、近年は防災も含め多くの視点から見るが必要になってきている。国府台コンソーシアム等とも連携し、多くの人を巻き込み進めていったほうがボランティア活動等のマンパワーも確保でき、人、エリアマネジメントにつなげていきやすいと思う。

○松尾委員

レフトスタンドは体育館に近いが、野球場は広げるのか。

○小島課長

外周は変更しません。外野の芝生エリアを縮めることにより両翼 95mを確保するとともに、フェンスの高さを調整しホームランまでの飛距離要件を満たすよう、設計しております。また将来的には観客の入りにより、バーベキューシートやエキサイティングシートを整備するなどし、これから千葉ロッテ等と協力して作り上げていくことを想定しております。

○水野委員

だいぶお話もいただいておりますが、この議案第2号の中で質問やご意見はまだありませんでしょうか。なければ、以上を持って与えられた議題はすべて終了いたしました。

その他スポーツ課から報告等はございますか。

○小島課長

ありません。

○水野会長

忌憚のないご意見をたくさん出していただきましたので。本日はこれもちまして、議事を全て終了させていただきます。ありがとうございました。

○小島課長

2番のその他につきましても、特にご報告事項等はございません。

以上もちまして、令和元年度第1回スポーツ推進審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。